

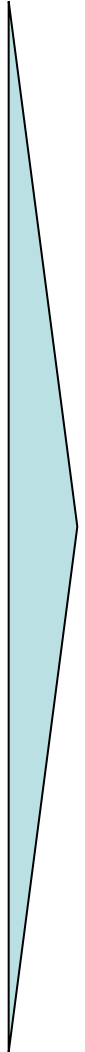
# 下痢性貝毒の食品健康影響評価の考え方

安全性に係る知見

実験動物

一般毒性 (経口投与)	急性毒性	OA群:下痢(マウス、ラット、ウサギ) PTX群: 両群共にマウスに対する経口投与では下痢原 YTX群: 性も含めて顕著な毒性が見られなかったという 報告がある。
	慢性毒性	データなし
生殖毒性		データなし
免疫毒性		データなし
遺伝毒性 発がん性		OA群:細菌復帰突然変異試験は陰性。 哺乳類細胞を用いた遺伝子突然変異は陰性/陽性 <i>in vitro</i> 及び <i>in vivo</i> の染色体異常試験は陽性 PTX群:データなし YTX群:データなし
		OA群:発がんプロモータ作用。作用機序:フォスファター ゼ阻害作用等 PTX群:データなし YTX群:データなし

ヒト



OA群について  
ヒトの事例データ  
有り。



ヒトの知見に基づ  
いたARfDを設定  
し、これを踏まえ  
て喫食量に応じた  
毒素の最大レベ  
ルを算出する。



これらを現状の貝  
の汚染実態と照ら  
し合わせる。